



兵庫県立教育研修所

授業実践研修とは、初任者研修で2回、2年次研修で2回、3年次研修で1回と3年間で合計5回実施する研修です。小・中学校の各グループ・各教科で授業者を募り、「事前研究一公開授業一事後研究」という流れで同僚性を生かしながら授業づくりについて考えます。従来は授業者の所属校を会場に実施してきましたが、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症対策の観点から、授業動画をを用いた研修として実施（今年度は2年次の第1回と3年次は授業者の所属校で実施）しています。

今回は、蓄積授業動画をを用いた授業参観として実施しました。午前中は、第7回（オンライン研修）の事前研究で協議した「めざす子どもの姿」やそれを引き出すための学習活動や手立てを踏まえて授業動画を視聴し、事後研究で授業改善の視点を出し合いました。

午後は授業実践研修（第2回）に向けた事前研究を行いました。第2回は各グループ・各教科から募った代表者の授業になります。これまでの実践で培った知識や研修での学びを生かしながら取り組むことができました。

小学校

公開授業【算数科(4年)『面積のはかり方と表し方』】

○研修に向けて

- ・「教員の働きかけ」「授業の展開」「子どもの学び」等が、本時のねらいに迫るものであったかを中心に参観したいと思います。また、自分自身の授業改善の視点も得たいと考えています。
- ・前回の研修で、教材と指導案を見た後、今回の公開授業を観て、子ども達の反応や教員の発問・指示の仕方を勉強したいと思います。また、子どもの様子からも、教員の発問に対してどのような反応をしたり、考えを持ったりしているのかということを知りたいです。そして、そこから自分のクラスの子供達には、どのような授業づくりをするとより学びが深まるのかということを考えていきたいです。

○研修の振り返り

- ・めざす子どもの姿に迫るために教員がどのような手立てをしているのか、子ども達の様子から考えることができました。今後、いろいろな先生の授業を観させていただく時にこの視点を生かしたいです。
- ・自分が授業をする時に、これからは授業の中で子ども達の様子を分析して、子ども達をつまずきにいち早く気付けるようにして、それに対する手立てを考えていきます。
- ・めざす子どもの姿や授業を参観する視点を定めてから授業を観ると、いろいろなことに気付くことができました。めざす子どもの姿に迫るためには、どのような発問をしたら良いのか、個人思考の前、途中の声掛けをどうしたら良いのかなどを具体的に考えることができました。今後の自分の授業を考える時や、他の先生の授業を観せてもらう時には是非、生かしたいと感じました。

小学校

【授業実践研修に向けた事前研究②】

○研修に向けて

- ・ねらいを達成するために、どのような学習活動を実施すれば良いかを考えていきたいです。理想の授業をみんなで考えた上で、子ども達の実態に合わせて授業をできるようにしたいと思います。
- ・授業者だけの負担になるのではなく、グループの全員で一つの授業をつくっていけるように、積極的に考え、取り組んでいきたいです。また、今までの研修での学びを生かせるようにしたいです。

○研修の振り返り

- ・教科書通りの授業をすれば時間内で本時のめあてを達成しやすいですが、やりたいことを詰め込んだ授業において完璧に時間配分まで考えるのは難しいと感じました。本時のめあてを確認した上で、問題と適用問題を解き、振り返りまで行うことの重要性を学ぶことができました。
- ・子ども達をつまずきに対する具体的な手立てや板書の工夫、見つけ方をまとめるのにどうしたら良いかなど、先生の具体的な姿、子どもの具体的な姿を考えたいと思いました。時間配分も気になるし、適用問題をどうすれば良いかまだイメージもできていないので、考えを深められるように次回の研修に取り組みたいです。

中学校

公開授業

【国語科】2年『モアイは語る』

○研修に向けて

- ・公開授業を観ることも大切だけど、その後どこが良かったのか、どこを変えたらより良くなるのかな等を話し合っ高め合うことが大切だと思います。多くの人と意見交換をしながら、自己研鑽に努めたいと思います。
- ・自分が授業を観る観点と、班の先生が授業を観る観点到に着目したいです。同じところ、違っているところ等を比較しながら、事後検討が行えればと考えます。一人ではどうしても視野が狭くなるので、複数の目で多角的に分析することで、「こうすればもっと良いのでは」という改善点が出せればと思います。

○研修の振り返り

- ・授業を視聴し、さまざまな意見交換ができました。声掛けに関して、揺さぶりや共感などはとても良かったのですが、より深い学びに導くためには、教員が導く声掛けが必要だという意見がありました。声掛け一つで生徒の学びの質も変わってくる痛感しました。
- ・今まで授業研究などを観せていただいても、良いところを見つけることに力を入れていました。良いところを見つけて真似したいと思っていました。今回、良いところだけではなく、改善できるところをと言われて、私はほとんど見つけることができませんでした。班の人たちは改善点もたくさん発見されていて、どれもなるほどと思うものでした。

【社会科】1年「南アメリカ州ブラジルにみる開発と環境保全」

○研修に向けて

- ・発問の仕方や、生徒の意見の拾い方や広げ方、さまざまな事を学びたいです。どのように多面的・多角的な学びができるのか学びたいと思います。
- ・事後研究の流れ、着目する視点に注意しながら学びたいです。また、アドバイスの中で様々な視点があり、その視点を獲得できるように心がけたいです。

○研修の振り返り

- ・事後研究で、良かった点、悪かった点ではなく、改善の方策として「どう変えていくか」を考えることが大事だと分かりました。ただ、できていなかったことを伝えるのではなく、次の授業へプラスになるようにしていきたいです。また、自身の授業においても常に改善の方策を考えながら、授業に取り組みしていきたいと思います。
- ・多角的な立場で授業を進める為には、生徒に提示する資料を工夫するべきだと思いました。これからは、生徒が自分とは違う意見と触れ合う時間を大切にしていきたいと思いました。

【数学科】3年「三平方の定理」

○研修に向けて

- ・協議では他の先生がどのような視点に立って授業を観ているのかを学びたいです。私では考えつかなかった視点、いいところや発想があると思うのでそこを聞き、自分の授業づくりの改善の糸口にしていきたいです。

○研修の振り返り

- ・協議の予想を立てていた通り、同じ部分でも違う気づきがありました。例えば、板書の色使いやレイアウト、板書計画時の話、電子黒板の併用等、様々な視点を持って交流することができました。多様な視点を学んだ中でも特に「子どもの主体性を高める発問」というところに視点を置いて授業づくりをしていきたいと感じました。
- ・どこまで教員が説明し、どこから生徒に出させるのか、普段のクラスの雰囲気との兼ね合いを図りながら検討していきたいと思いました。

【理科】2年「唾液のはたらき」

○研修に向けて

- ・授業に対して思ったことを、正確に言葉で伝えられるようになりたいです。そうすることで、自分自身の授業に対する考え方もまとまっていくと思うからです。私自身の課題は、授業力だと思っています。そのために自身の授業を客観的に評価し、定期的なチェックを通して、改善すべき点を明確にしていきたいです。

○研修の振り返り

- ・授業映像を見た後、改善点についても話し合いました。実験の操作の説明は、もう少し詳しくした方がよかったかもしれないということや、机上の整理を呼びかけておくと、もっと安全に実験できるかもしれない等の意見が出ました。参観することで、自分自身の授業を振り返るきっかけになることに気付けた時間となりました。

【音楽科】3年「鑑賞 フルタバ(モルダウ)」

○研修に向けて

- ・グループの他の人の指導案を見たり、話し合ったりすることは大変勉強になりますし、授業をつくっていく過程での学びをしっかりと習得したいです。
- ・授業の内容について検討する中で、他の初任の先生方の視点も取り入れた振り返りができることを期待しています。

○研修の振り返り

- ・グループの他の人の授業を参観すると、良い所も改善点もよく気付いて、授業内容だけでなく、子ども達との関わりや発言の評価、問い返しの言葉の選び方、板書等いろんなところに目がいききました。自分が授業する時も、そういった点に気を付けてしないといけないと感じました。また、教材研究をし、授業を組み立てるときに、何のための鑑賞なのか、何のための活動なのか、常に立ち返る意識は忘れないようにしようと思いました。

【美術科】2年「アニメーションづくり」

○研修に向けて

- ・児童生徒の実態に応じた手立てが毎回難しく、悩んでいます。他校の生徒の様子を見ながら、私ならこう対応するだろうと考えながら、公開授業の様子を参観したいです。
- ・生徒が主体的に活動する授業づくり、授業の目標をより具体的に生徒に理解させるための工夫について学びたいです。

○研修の振り返り

- ・授業の参観と分析を通して、生徒が主体的に活動できる授業の重要性に気付くことができました。教員の問いかけや、グループワークを活用することで生徒が主体的に活動できる授業を工夫して行っていきたいです。生徒が目標を理解し、より工夫して制作できるように、効果的な発問や興味を引く導入を考えていきます。

【保健体育科】1年「マット運動(器械運動)」

○研修に向けて

- ・他の初任者の方の意見を聞き、話し合い等を通して事後研究を進めていきたいと思えます。体育科の先生方と協議できる機会は貴重なので、授業力向上、自身の資質向上に向けてしっかり取り組みたいと思います。

○研修の振り返り

- ・動画を視聴し、私自身の視点と意見を持つことができました。その中で、良かった所、課題点を見付けることで、自分の授業につなげて考えることができました。また、ねらいに迫るために「生徒から自発的に引き出せるような仕掛けづくり」をするために、どのような授業をすべきか考えることができました。まだまだ課題が多くあるので、今後、追究していきたいです。
- ・つまずきのある生徒や気付いていない生徒に対しての関わりを声掛けだけではなく、実演や動画を使い視覚的に指導されていました。本時のねらいに迫るためには、教員からのコツだけではなく、生徒から発見したことを引き出す工夫を意識して取り組んでいきたいです。

【技術・家庭科(技術分野)】3年「鑄造の加工方法を知ろう」

○研修に向けて

- ・実践交流を通じて、授業の進め方や生徒に応じた手立ての工夫を考えていきたいと思ひます。普段の授業のねらいや発問についても改めて考えてみたいと思ひます。

○研修の振り返り

- ・授業実践に向けての展開をグループで検討しました。各グループでアイデアが出て、実物や活動内容で惹きつけることも可能だと思ひました。めざす子どもの姿を設定して、その姿に近付けるような活動を設定すべきだと思ひます。
- ・公開授業を見て、良かったところと改善できるところを出し合いました。実習と発表を行うと、どうしても時間が足りなくなってしまうことや、それを改善するために導入の工夫や実習の中での役割分担を決めること、全体で情報共有を行うこと等、様々な意見や考えを共有できました。今後の授業で改善し、意識して授業づくりをしていきます。

【技術・家庭科(家庭分野)】2年「健康で安全な住まい」

○研修に向けて

- ・動画を視聴するにあたって、良かったところだけを褒め合って終わるのではなく、より良くするにはどのような取組が必要になってくるのかも考えてみたいと思ひます。

○研修の振り返り

- ・動画を視聴して学ぶことが数多くありました。「良かった点」と「さらによくになりそうな点」で分けて付箋に書き出し、グループ分けしました。【①板書については、めあてが分かりにくかったので、提示の仕方や色チョークで目立たせる。②生徒と教員のやりとりになっていたため、隣の人と話し合ったり、グループ活動を取り入れたりする。③宿題にしていた部屋の間取り図は、家庭環境のプライバシーに配慮しなければならない。】等、たくさんの視点から指摘があり、私自身も授業で気を付けていきたいと思ひました。

【外国語科】1年「My Family, My Hometown(三人称単数現在形の肯定文)」

○研修に向けて

- ・授業者のねらいを理解して、生徒がそのねらい通りに授業の中で活動できていたのかを観察して、より良くするための方法を協議したいと考えています。
- ・どのような視点をもって授業を観たらいいのか、授業のねらいが何で、評価はどのタイミングでどのようにするのかを見る目を持たないといけないなと思ひました。事後研究はよりみなさんの多様な意見によって深まるのでいろいろ吸収したいと思ひます。

○研修の振り返り

- ・授業の中で、時間を意識して上手に活用することがとても重要だと学びました。生徒への説明を短く簡潔にすることで、何をすればよいのか分からないという混乱を避けることができ、また生徒達が自ら考え、表現する時間を増やすことにも繋がります。アウトプット活動を多く取り入れることを意識して授業を行なっていきます。
- ・具体的に改善した方が良いところを見つけるのは簡単だが、それをどう良くするかと考えるのは難しいです。他の先生とも協力しながら新しい目線に立って改善点を見付けられるのは本当に参考になりました。

中学校

【授業実践研修に向けた事前研究②】※各教科からランダムに抜粋

○研修に向けて

- ・教員が求める生徒の姿をまず考え、その上で予測されるつまずきに気づき、その手立てを考えて事前研究を行い、より良い主体的、対話的で深い学びが実践できる方法を協議して考えていきたいと思ひます。
- ・これから私も研究授業をすることになっています。指導案の具体化について改めて学習したいと思ひます。授業研究、授業力の向上に努めていきたいと考えています。グループで様々な意見を交流する中で授業をつくりあげたいと考えています。
- ・同じ初任者が授業をされるということで、どのようなことに気を付けて、研修で学んだどのようなことを生かしながら授業をされるのかを意識しながら、自分の授業に生かせるよう勉強しようと思ひます。グループで教材を研究する中で、良い授業とは何か考えながら自分の授業づくりに生かせる気づきを得たいです。
- ・授業実践にあたって重点を置いて考えるポイントや、どのように学ばせるのか等、様々な視点から考えることや、他校の先生方と意見交換をし、自分の力として身に付けられるように考えながら取り組みたいです。

○研修の振り返り

- ・まず第一に答えを言わずに生徒に変化に気付かせる授業を展開することが大切であることを再認識しました。協議する中でタブレット端末の使用法や生徒の実態に応じた工夫の仕方を学ぶことができ、勉強になりました。教材研究に時間をかけて、めざす生徒の姿に迫る授業を展開したいと考えました。
- ・指導案の作成にあたっては、必要な項目ごとの解説を参考に確認しました。単元の評価規準、教材観、生徒観、指導観については本時のねらいと授業後のめざす子どもの姿とめあての3点がつながっていることがポイントです。また、個々の学習活動でめざす子どもの姿が、授業後のめざす子どもの姿へと向かっていることなどを確認しておくことが、大切だと分かりました。あくまで、指導案は授業の流れであり、本時の授業については、学習活動と発問、予想される子どもの反応とつまずき等を詳細に分析しておくことが、授業者には必要だと改めて感じました。これからの研究授業について、指導の詳細を具体化したものを書き出して臨まなければと思ひました。
- ・この研修では、バタフライチャートという思考ツールを用いた授業実践について検討しました。「不利益」ということについて述べられた文章でしたが、交流を通して、各班で展開方法について大きく異なることがわかりました。しかし、大切なことは、思考ツールを使っても、教員が題材を提示しても、ねらいに沿った展開ができていくかという点です。ツールや展開方法はあくまで手段であり目的ではありません。この授業で生徒に何を身に付けたいのか、次の授業へどのように繋げていきたいのか、このあたりがぶれないように気を付けることが意味のある授業をする上で大切だと分かりました。
- ・教材研究をしながらさまざまな意見交換をする事ができました。その中で、授業する上での考えさせるポイントや重点を置くところの考え方などを学びました。今回は最終的な終着点を探し出す事はできなかったですが、このように考えを練る事が大切だと改めて実感しました。